



2022年10月14日

各位

会社名 and factory 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 青木 倫治
 (コード番号: 7035 東証プライム)
 問い合わせ先 取締役 蓮見 朋樹
 TEL. 03-6712-7646

特別損失の計上および2022年8月期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2022年8月期において以下のとおり特別損失を計上することとし、2022年7月15日に公表いたしました2022年8月期(2021年9月1日～2022年8月31日)の修正業績予想と本日開示の実績値に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 特別損失の計上について

2020年10月15日に公表したとおり本社移転を中止したことに伴い、移転予定先の賃料の支払いが発生していましたが、解約合意に至ったため、当第4四半期において当該違約金等を179百万円、当社が保有する投資有価証券の減損処理による投資有価証券評価損を26百万円、合計206百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 2022年8月期通期業績予想と実績値との差異(2021年9月1日～2022年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,750	百万円 40	百万円 △178	百万円 △178	円 銭 △18.07
今回発表実績(B)	2,833	66	△144	△350	△35.57
増減額(B-A)	83	26	33	△172	△17.50
増減率(%)	3.0	65.2	—	—	—
(参考)前期実績 (2021年8月期)	3,044	△83	△239	△561	△57.13

3. 差異の理由

当社を取り巻く事業環境としましては、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた外出自粛が緩和方向にあることによるユーザー行動の変化や、国内外の経済停滞懸念を背景とする広告市況の悪化等、厳しい状態が続いております。こうした状況の中、各マンガアプリにおいて新規ユーザーの獲得が順調なことに加え、大型無料施策によるユーザーの定着等によりMAUが好調に推移しました。また、人気作品の牽引や一部アプリにおけるテレビCMが奏功したことで課金ARPUが上昇し売上が増加いたしました。マンガアプリ事業およびエンタメ事業が好調に推移したことで、全体の売上高、営業利益および経常利益は前回発表予想を上回って着地しました。

一方、本社移転中止に伴う解約違約金および投資有価証券の減損処理による投資有価証券評価損の発生により、2022年7月15日に公表した業績予想には織り込んでいなかった特別損失が発生したことで、当期純利益は前回

表予想を下回って着地いたしました。

2022年8月期までは、移転予定先の賃料の支払いが発生しており、営業外費用に当該賃料支払を計上していましたが、解約により2023年8月期以降の費用計上はございません。そのため、本日公表しております2023年8月期業績予想には営業外費用の発生は見込んでおらず、今後は安定した当期純利益の黒字化の実現を図ってまいります。

以 上